

FIDIC News December 2011/January 2012

訳責:国際活動委員会 CB 分科会

脚注:この抄訳は若手メンバーの翻訳を分科会で監修したものです。

A. 活動(FIDIC -Activities)

A.1 FIDIC アジュディケーター候補向けワークショップ開催 (FIDIC Adjudication Workshop Candidates Invited)

FIDIC アジュディケーター会長リストへの登録希望者向けワークショップが 2012 年 4 月にヨーロッパで開催されると、APA 議長の Peter Chapman により公表された。特にアジア、アフリカ、ラテンアメリカで経歴条件を満たす希望者は、是非、FIDIC 事務局に詳細を問い合わせしてほしい。



A.2 FIDIC トレーニングセミナー開催へ追い風(FIDIC Training Resources Receive a Boost)

初の FIDIC 講師認定アセスメントワークショップが 11 月 8 日～10 日にロンドンで開催された。9 カ国から 10 人が参加し、認定講師選定のために組織された FIDIC アセスメントパネルによって評価された。認定講師は、今や世界中で使用されている FIDIC 契約約款の利用と理解を促進する上で重要な役割を果たしていることが評価されている。FIDIC は、この役割を重視し、FIDIC 契約の訓練のための認定講師には必ず必要な高い水準が維持されていることを約束している。したがって、このアセスメントは必要かつ厳格に運用される。



アセスメントには 2 つの過程がある。まず、受講者は全員、一定の資格と経験を持っていることを証明する経歴書を提出しなくてはならない。次に、資格と経験を証明することができた受講者は、2 日半に及ぶアセスメントワークショップの受講資格を得る。このアセスメント中に、プレゼンテーション、ケーススタディ及び同様なテストを実施し、受講者の幅広い理解と工事契約の実務経験の評価が行われた。また、受講者は質疑応答も受ける。ワークショップでは FIDIC Red Book 1999、Red Book MDB 版、DBO Gold Book を網羅する FIDIC モジュール 1 に重点が置かれている。現在、このコースの需要が最も高く、FIDIC は 2011 年に 40 カ国以上で 80 回開催している。認定講師の数が増えれば、FIDIC は官民両方のクライアントを対象としたセミナーも拡大することができる。

A.3 腐敗行為は経済発展を妨げる (Corruption Prevents Economic Growth)

FIDC2011 ダボス大会で新しく選ばれた FIDIC 会長 Geoff French は「腐敗行為は世界的な経済発展と安定を衰退させるもっとも忌避すべき行為の一つである」と述べている。



コンサルティングエンジニアは世界のインフラストラクチャーの非常に大きな部分に関与しているが、贈賄と収賄に曝される危険性が大きいその環境で活動することにフラストレーションを感じている。公式の見積もりでは、建設投資のうち約 6000 億ドルの年間損失で、それはインフラストラクチャーへの全年間投資の 10 パーセントとされている。驚くことではないが、専門コンサルタントの調達における品質規定に関する話題に、特に多国間開発銀行からの出席者の間で、相当な注目があつまった。ブラックリストと同様にホワイトリストの話題は微妙であるが、特に FIMS のような新しいツールと共に FIDIC によって着実に押し進めら

れる。

A4 良質なインフラ整備への鍵は品質による調達(Quality Procurement Key to Infrastructure Development)

76 か国からの世界を代表するコンサルティングエンジニア 600 人以上が、開催場所と日程の変更にもかかわらず、業界最大のイベントであるダボス大会に出席した。主催団体は、多くのアフリカに関するテーマおよび行事を含んだチュニスにおける元のプログラムを、うまくスイスのアルプス地域である Graubunden に変更した。チュニジアとスイス双方の同僚の支援によって、大会出席者は相互にネットワークを作ることによってビジネスの機会を得ることが出来た。

第 1 日目において、北アフリカのダイナミックな変化とそれから予想されるインフラ整備への影響について、詳細な検討が行われた。すべての地域からの講演者は、特別公開討論会で彼らの経験や見通しを共有した。その日の午後のセミナーでは、調達、財務管理および統治に関する問題のほかに、ビジネスを発展させるためには、変化する市場の要求に会社が適応する必要があることについて検討した。

クライアント、建設会社、コンサルタントおよび銀行からの講演者は、それぞれに関連し合う問題について見解を共有した。

2 日目は、アフリカのエキスパートである Baroness Lynda Chalker および南アフリカの大臣 Trevor Manuel が、アフリカ大陸でのビジネスチャンスを紹介して、この日の会議を開始した。全アフリカを対象とした能力開発がこの日の焦点であった。多くの切迫した状況にある講演者が、このフォーラムに貢献した。両日の特徴は若手専門家達が大いなる貢献をしてくれたことであり、彼らは業界の将来のリーダーとして、クライアント、並びに社会によって提示された課題に対応する責任を負っている。

3 日目は、業界の将来について大胆な検討を行った。それは、今後長年に渡って会員会社が持続的に良質のサービスを提供し続けるためには、各会社および協会が何をすべきかについて、明確にすることであった。世界中からの講演者が、この業界にとって重要な議論に彼らの知識と経験談を提供した。このダイナミックなプログラムについての詳細およびプレゼンテーション資料のコピーは FIDIC ウェブサイトの www.fidic2011.org からダウンロードできる。

FIDIC の努力の成果は、多くの国々で見られることで明白である。たとえば、多くの会員会社が他の会社とのネットワーク形成に利用可能な設備をフルに活用して、他の国の会社とのジョイントベンチャーやサブコンサルタントの可能性を検討している。そのようなサービスに必要な契約約款の改訂は FIDIC 内で現在順調に進行中である。

A5 FIDIC 若手専門職養成プログラム 2012 (FIDIC YPMTF 2012 Programme)

2012 年の標記オンライン管理職者研修コースへ参加希望の若手専門職候補は現在受付中である。詳細はウェブサイト参照。 ypf.fidic.ch/training/



B. 事業展開(Business-Development)

B.1 韓国で発足した最新の FIDIC 国内研修プログラム (New-look FIDIC National Training Programme Launched in Korea)

韓国において、FIDIC 契約約款モジュールおよびビジネス実務モジュールにおける5か月間のトレーニングプログラムが、FIDIC の地域会員協会である KENCA (Korea Engineering & Consulting Association: 韓国エンジニア

リング・コンサルタント協会)の協力のもと開催された。この研修プログラムの目的は、参加者25人を将来のFIDICの国際的指導者に認定するために訓練を行うことである。



研修教材コースで用いられたいくつかのノートと、それをサポートするPPTのスライドがFIDICにより作成され、現在では、他の国際的なFIDIC研修イベントにおける教材の一部となっている。それらは、特にCE業界に対して準備されたFIDIC研修モジュールの活用範囲を広げている。(例えば、リスクマネジメント、品質管理、環境マネジメントなど)

当プログラムは2012年韓国において再度開催される見込みであり、また多くの国々が当プログラムの導入について関心を示している。詳細は、FIDIC事務局まで。

B2 南米での研修イベントの発足 (South-America Training Events Launched.)

現在、南米においてFIDICの研修活動の発展に対する関心が高まっている。2011年後半にFIDICの研修ワークショップがブラジルで開催された。このイベントには多くの人が参加し、参加者にも好評であった。

来年、南米地域で複数の研修イベントが計画されており、それらは南米におけるFIDIC契約約款が増加していること、FIDIC契約約款の利用に対する更なる理解へのニーズがあることを示している。更なる利用のため、主たるFIDIC契約約款はスペイン語とポルトガル語に翻訳されている。

ブラジルのFIDIC会員への加入に伴い、FIDICは他の南米諸国に再加入してもらおうべく南米諸国連合の国々と密接に協働している。

B3 ビジネスを強化するアフリカのコンサルタント(ラバトで開催された FCAA 大会)

(African Consultants Enhance Business (FCAA Conference, Rabat))

Enrico Vink FIDIC常任理事は、モロッコのラバトで開催された「アラブ・アフリカ・コンサルタント連盟(FCAA)」の年次大会で、持続可能な開発とビジネス・ネットワークに関する演説を行った。FCAAが設立されたのは最近であるが、北アフリカの力強い支援を受け、アフリカの20カ国を代表するプロフェッショナルコンサルティング・エンジニアたちが参加している。この団体の活動目的は、ビジネス関係を作り育むこと、そして、インフラストラクチャー・プロジェクトにおける協力関係構築の機会を切り開くことである。この目的を達成すること自体が、アフリカのビジネス能力の強化というFIDICのより広範な活動目的を達成することにつながるのである。



B4 FIDIC へ近づくロシア (Russia Edges toward FIDIC)

ロンドンで実施されたFIDICセミナーでは、ロシアの建設業について取り上げられた。発表によると、ロシア政府と建設業界団体は、モスクワを訪れたFIDIC代表団を温かく迎えた。彼らはFIDIC契約約款に強い興味を持っており、2012年のFIDIC大会と、訓練セミナーを実施することで合意した。

訓練は2012年3月にモスクワ、2012年6月にエカテリンブルグ、2012年9月にサンクトペテルブルグで実施される予定である。詳細は2012年に発表される予定である。



B5 地域イベントに向けた、ポーランド大会 (Poland Conference aims at Regional Coverage)

ワルシャワ調停センターで行われたポーランド大会で、FIDICはバルティック地方と中央ヨーロッパで訓練イベントを実施することを発表した。最初のイベントは、2012年4月26日～27日に、ワルシャワにて実施される予定である。

C. 実務 & 契約約款 (Business-Practice & Contracts)

C.1 コンサルティングエンジニアのための新しい手引き書 (New Guides available for the consulting engineers)

コンサルティングエンジニアの知識を高めることを目的とした手引き書や専門コンサルタント選定における好事例が出版された

- Quality Based Selection (QBS) Guide: 品質と技術によるコンサルタント選定ガイド
- FIDIC Integrity Management System (FIMS) Guide: コンサルタントエンジニア会社内で構築する堅固で柔軟な統合マネジメントシステムの事例を紹介する。



QBS Guide 2011
[無料配布中]



FIMS Guide 2011
[無料配布中]

C.2 FIDIC 下請負契約約款の出版 (The FIDIC Sub-Contract was launched)

The Construction (1999 Red Book) Subcontract 1st Ed (2011)は、主な1999年の建設契約を参考に出版された。

Subcontract 1st Ed (2011)は FIDIC bookshop でお求めください。



Subcontract 2011
[AJCE コード CO-31-2]

C.3 調達手続きの手引きの出版 (Procurement Procedures Guide Launched)

2011年の10月に出版された The Procurement Procedure Guide 第1版には、調達手続きにおける全ての局面に関する、包括的な概要と詳細説明がされている。

FIDIC 発行の Procurement Procedure Guide (2011)をお求めください。



Procurement
Procedures Guide
[AJCE コード AD-45]

[AJCE事務局より] 上記書籍はAJCEでも購入できます。詳しくはお電話でお問い合わせください。03-3839-8471

C.4 FIDIC 約款、ロシア語、セルビア語、アラビア語への翻訳 (Russian - Serbian and Arabic translation)

主なFIDIC契約約款のロシア語とセルビア語のバージョンが、電子ファイル(PDF)で利用可能となっている。

また、アラビア語バージョンの DBO 契約約款は FIDIC bookshop で取り扱っている。

D. 協会活動 (Industry-Representation)

D.1 欧州指標がコンサルティング・エンジニアリング部門の収支動向を展観 (European Barometer points to Positive and Negative Profit Trends in the Sector)

近年、ヨーロッパコンサルティング・エンジニア協会連合 (ECFA) により実施された調査において、コンサルティング・エンジニアリング部門の売上高及び収益動向が調査された。この調査は、欧州における短期的な事業

展開について、様々な業界の見通しや認識を明らかにした。

調査結果によると、質問に回答した国々のうち、次の半年間において活動分野の売上高が増加するとの回答が 18%、減益になるとの回答が 29%、近い未来に大きく減益するとの回答が 24%であった。企業全体の利益に関しては、次の半年間で減少するとの回答が 47%で、更に 23%は大きく減益すると回答した。

欧州における経済指標を継続して調査するため、ECFA の取締役及び事務局は調査委員会を設置し、欧州の現在のビジネス環境及び期待されるビジネス活動の調査に関する簡潔な電子調査の基準を作成する事を決定した。この結果は、毎年 4 月及び 10 月に全欧州の関連団体に対して公開される事となる。

D.2 南アメリカ連盟 FEPAC40 周年記念式典を開催 (South American Federation FEPAC Celebrates 40 Years)

FIDIC は地域連合組織である中南米アメリカコンサルティング・エンジニア連合(FEPAC)の創立 40 周年記念を 2011 年 11 月に開催した。記念式典は、ペルーのコンサルティング協会(APC)主催の執行委員会に先行する形でペルーの首都リマで開催され、近年の世界経済危機によりコンサルティング企業が受ける影響についてセミナーが行われた。FIDIC の副会長である Pablo Bueno と法務管理の Italo Gouzueta が式典に出席した。

FEPAC は主にラテンアメリカのコンサルティング・エンジニアリング組織により構成され、スペインやポルトガルの組織も 2011 年に同連盟に参加した。ラテンアメリカの経済成長はヨーロッパや北アメリカの多くのコンサルティングエンジニア会社を引き付けており、各国の現地企業との競合が起きると考えられる。FIDIC は、専門的な研修の実施や FIDIC 約款、各種ガイドライン及び商習慣に関する情報提供を介して、両者の協調関係を強化するための方法を検討している。

E. イメージ (Industry-Image)

E1 FIDIC100 周年記念賞発表 (FIDIC Centenary Awards Announced)

理事会は、2013 年にバルセロナで開催される FIDIC100 周年大会で連盟設立 100 周年を祝うための FIDIC100 周年記念賞を計画することを了承した。FIDIC100 周年記念賞の目的は、過去 100 年で最も優れたエンジニアリングの業績を祝い、CE の仕事および彼らが世界へ行った貢献について宣伝することを支援し、FIDIC100 周年を祝うことである。

それ故に、その賞は FIDIC100 周年大会の目的を後押しするものであり、大会は、社会の中での CE の知名度を上げ、CE 業界を正しい位置に戻すことにも役立つ。100 周年大会ではその賞に対する最も優れた作品が展示されることになる。

その賞の推薦は FIDIC 会員協会(MA)によって行われる。推薦する際、MA は、必要な場合には、そのプロジェクトが国際的に認識されるものであり、技術的にすぐれていることが示され、革新的な内容であることを明らかに示すこと、そして永続的で持続可能であると確認されることが求められる。エントリーは、あらゆるタイプのエンジニアリングプロジェクトについて受け入れられる。

その賞は以下のカテゴリーに分類される: 過去 100 年の主要建築プロジェクト、過去 100 年の主要土木プロジェクト、過去 100 年のリーディング・コンサルティング・エンジニア。

全 FIDIC MA に対して公式な推薦要請が 2012 年 1 月上旬に出される予定である。

F. 公正管理(Principles - Ethics)

F.1 汚職対策においてさらに卓越してきた民間部門(国連汚職防止協定第4回加盟国会議、マラケシュ 2011) (Private Sector more prominent in Anti-Corruption (UNCAC - COSP4, Marrakech, 2011))

5 ページにわたる汚職防止を呼び掛ける決議書では、汚職防止において民間部門による関与を促進させるように加盟国に呼びかけている。その中で、たとえばエネルギー・運輸・環境などの民間部門や、スポーツ関連イベントを含む大規模な公共イベントを行う組織における防止対策の開発も含まれている。それはまた、調達に関する UNCITRAL の模範法との連携を呼びかけている。さらに、汚職対策の取組みと「その組織の情報を得るための既存の権利と機会、それらの行政の機能的な意思決定プロセス」についてだけではなく、若者と協力すること、公共及び民間セクターの汚職防止の教育の改善の認識を高めることを加盟国に求めている。

FIDIC は、汚職や賄賂のリスクを発見し対処するために、業界による業界のための特別に開発されたツールを用い、産業界における内部からの汚職問題へ取り組んでいる重要な事例として、FIDIC の新しい公正管理システム (FIMS) を発表した。しかし、他の解決策が他の組織によって提供されていること、そして世界銀行 (COST プログラム付)、OECD、トランスペアレンシー・インターナショナルのような影響力のある組織があらゆる汚職と闘うための一般的なガイドラインを推進しているにも関わらず、世界標準がないことが明らかになった、FIDIC は、調達プロセスの重要な基準として FIMS を推進して行く予定であり、これは、調達に関する UNCITRAL モデル法と同様に、顧客と資金提供者によって検討されているものではない。会議の詳細については、FIDIC から入手可能である。

G. 持続性(Principles - Sustainability)

G.1 FIDIC による気候変動政策の紹介(FIDIC Introduces Climate Change Policy Statement)

炭素取引の更なる形態について再度議論すべく、世界中の首脳がダーバンに集結した。2015 年に向けた新たな合意の可能性として、FIDIC は、インフラの開発にニュートラルなアプローチを導入する方向で作業を続けた。

それは、以下の 1～4 に示すように、産業界の役割の変化を提案している。

1. 世界中の気候変化に影響に対処するための、既存のインフラの適応
2. 気候変動の将来変化に弾力的に対応するような設計方法の適応
3. 温室効果ガスの削減に寄与するようなインフラの設計
4. エンジニア(専門家)、クライアント等の間での問題意識の向上

FIDIC とその会員は、プロジェクトの実施、計画、調整、施工、総裁、維持管理、処分等あらゆる段階において低炭素社会とのつながり、促進に貢献していくことであろう。詳細については、FIDIC 事務所にて入手することができる。

2012 年 9 月 9 日～12 日にソウルで開催される FIDIC 世界大会に向かって、より発展していくと思われる幅広いビジネス構想の中で、気候変動と産業界のための新たな戦略の向上については、もはや単独の問題ではなくなっている。



H 行事 (Announcements-Events)

H.1 理事会からのお知らせ (News from the Executive)

ダボスでの FIDIC 総会において、FIDIC 理事会の 3 つの空席は埋められた。9 人の国際コンサルティングエンジニアからなる理事会は、カナダ (Chris Newcomb) とフランス (Alain Bentejac)、そしてスウェーデン (Kaj Möller)

から加わった 3 人の新しい仲間に対し、心からの歓迎の意を表した。また、8 年の任期の後、この度退任する Gregs Thomopulos 会長(アメリカ)と、それぞれ 4 年の任期を終える理事の Patrick Batumbya(ウガンダ)と Adam Thornton(ニュージーランド)へ心からの謝意が贈られた。(<http://www1.fidic.org/about/comm/ec/>)

この FIDIC 総会期間中に、2 つの新しい会員協会が FIDIC 会員加入を了承され、FIDIC 会員総数は 89 に達した。FIDIC は、新たに国際コンサルタント業界に加わったモザンビークとパレスチナを心より歓迎する。

FIDIC 事務局は、2011 年中に加わった業務ダイレクターの Francois Baillon と新しい実務マネージャーの Italo Goyzueta、そして新しい設計マネージャーの Christophe Sisto により強化された。この新しい事務局は、市場からの日々大きくなる要望に対して、FIDIC が会員や業界へより幅の広いサービスを提供する体制をつくることができるであろう。(www1.fidic.org/about/secretariat.asp)

H.2. ソーシャルコネクションの活用促進(FIDIC Enhances Social Connections)

今、Facebook で FIDIC の活動に対して「いいね！」ボタンを押したり、ツイッターで FIDIC 活動をフォローしたりすることができる。国際的な組織にとって有効なコミュニケーションツールとしてソーシャルメディアの活用や認識が高まったことに対し、FIDIC は Facebook とツイッターのそれぞれのページを改良した。



FIDIC の会員やその友人は、各自のソーシャルメディアのアカウントから FIDIC の活動に対し、「いいね！」ボタンを押すことができるし、FIDIC の活動情報をフォローすることができる。FIDIC は、読者すべてを、FIDIC の Facebook ページ <http://www.facebook.com/FIDIC.Page> と FIDIC の「つぶやき」をフォローできる <http://twitter.com/FIDIC> に招待する。

このコミュニケーション環境をより良くするための意見、感想は大歓迎である。

以上